

シーズ分野;臨床看護学 母性看護学・助産学

## 研究シーズ;母乳免疫についての研究

－ 分娩ストレスと初乳の有用性 －



滋賀医科大学 臨床看護学講座 母性看護学・助産学  
教授 立岡 弓子

「やっぱり母乳育児！」

■関連文献・特許

- J. Jpn. Acad. Mid., 14(2), 39-47, 2001
- J.Jpn.Acad.Nurs.Sci.,24(3),30-38.2004
- J Hum Lact.,31(3),474-478, 2015
- Chemosphere., 66(6),1160-4. 2006

■研究概要

昔から母乳育児が良いことは言われていたが、分娩時のストレス(出血や長時間の苦痛)がかかった母体から出る母乳が本当に良いのかどうか長年の間、疑問視されていた。

100名以上の母親を対象に行った研究から、ストレスがかかった母体からでも十分に免疫力の高い母乳が出ることを証明し、世界保健機構(WHO)も分娩後できるだけ早い時期に、初乳を飲ませ母乳育児をすることを推奨している。

従って、専門的な立場から、1人でも多くの母親が母乳育児をするようになることを支援したいと考えており、支援に役立つようなグッズを常に工夫して自作している現状である。

■応用展開・共同研究テーマ例

- ・母乳育児を支援する乳房・乳頭ケア製品の共同研究開発

■研究者からのお願い(ニーズ)

- ・上記の研究テーマに関心があり、具体的な製品開発と一緒に共同研究してくれるパートナー募集

母乳育児

ストレスを受けても免疫力の高い母乳は出る



表2 初産・経産別、初乳中S-IgA濃度\*

初産・経産別	n	S-IgA濃度(mg/dl)
初産婦	69	1,492±1,518*
経産婦	60	914±1,071*
1経	47	958±1,161
*2経	11	754± 642
*3経	2	757±1,051

\* (m ± SD)

総数129名

引用: J. Jpn. Acad. Mid., 14(2), 39-47, 2001

お問い合わせ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携担当

077-548-2847 E-mail;hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp